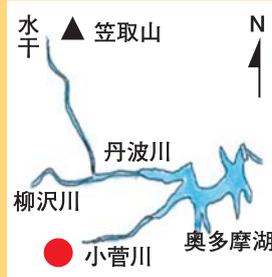


財団だより

第151号

2017.9

多摩川



多摩川源流 小菅川

多摩源流村をキャッチコピーとしている山梨県小菅村の最奥にある秋色の雄滝である。

奥多摩湖畔を西へ向かい、深山橋を渡り直進して山梨県へ入る。

小菅村役場前を通り越して細い林道を赤沢集落へ向かい行き止まりの駐車場で車を降り、さらに約10分 苔むした丸木橋を渡りたどり着く多摩川の最奥の雄滝。観瀑台もつるつるに苔むしており足元注意。

小菅川は観光地として精力的に開発され、日帰り温泉やマス釣り場などが整備され、キャンプ場やアドベンチャーワールド、あるいは源流体験や巨樹巡りなど自然体験のプログラムなども用意され年間を通して若者には人気スポットである。

画と文
工博 野尻明美
日野市在住

目次

| | |
|--------|---|
| 特別寄稿 | 2 |
| 多摩川に学ぶ | 4 |
| 多摩川散歩 | 5 |

| | |
|-----------|----|
| 財団からのお知らせ | 6 |
| インフォメ・多摩川 | 10 |
| 編集後記 | 13 |

特別寄稿



美しい多摩川フォーラム
設立10周年を迎えて

美しい多摩川フォーラム
事務局長 及川清隆

平成29年7月29日、美しい多摩川フォーラム設立10周年記念シンポジウムが、昭島市のフォレスト・イン昭和館にて開催された。冒頭で、ドローンによる春の多摩川空撮映像を初公開した。撮影時期は桜の開花に合わせ、延べ3日に亘り、多摩川の源流から河口まで8つの堰にもスポットを当てた内容で、全長138kmの魅力を目線でまとめた約15分の映像だ。また、パネルディスカッションをおこない、これからの10年のスタートに向けて弾みがついた。

美しい多摩川フォーラムが産声を上げたのは、平成19年7月21日（事務局：青梅信用金庫）。現在、1,500会員を超え、国（国土交通省）や東京都をはじめ、多摩川流域25の自治体が行政会員として参加する一方で、民間からは公益的な企業、一般企業、団体、NPO、大学、市民、子どもまで幅広い層が参加している。悠久の母なる川として地域で最も共感が得られる“多摩川”をシンボルに掲げ、多摩川水系の流域周辺地域の各主体とイコール・パートナーとして連携・協働しながら、「美しい多摩づくり運動」を経済・環境・教育文化の3つの観点から、進化・発展する基本計画「美しい多摩川100年プラン」として立案した。水環境を守りながら、地域経済の活性化に取り組み、そして、次代を担う子どもたちへの教育を通じて、地域の人々（多摩圏民）が生きがいを持って、自立した生活が送れるよう“持続可能な地域社会”を実現することを標榜し、官民広域連携による様々な事業活動を展開している。

経済軸では、日本人が愛してやまない桜を「夢のシンボル事業」とし、単体では限定的な価値しかなかった多摩川流域に点在する桜の名所を、「桜の札所」と

してフォーラムが独自選定の上、願い事を携えて巡る「多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所巡り」と名付けてネットワーク化し、「交流人口の増加」を促す仕組みとした。具体的には、JR東日本等と連携し、桜の札所を巡るお花見版「駅からハイキング」として事業化し、その後、各種桜ウォーキング・イベントとして定着している。また、はとバスでは、多摩地域初のバスツアー商品として桜の札所を巡る商品をこしらえ人気ツアーとなっている。なお、語りの第一人者による「桜の語り会」のボランティア公演を各地の桜の札所（寺社）で毎春開催し、文化的な裾野も広がっている。

また、秋からの新酒シーズンに向け、西多摩の5つの酒蔵と紅葉や温泉地を巡る「多摩川酒蔵街道」事業を創設した。具体的には、5蔵の酒の飲み比べができる旅行商品を、はとバス（バスツアー）、JR東日本（お座敷列車）等がつくり、多摩川フォーラムによる多摩の観光地域づくり運動の通年化に道を開いた。

環境軸では、自然資源の保全の観点から、身近な水環境の全国一斉調査と連携し、多摩川の源流から河口まで約400地点で「多摩川一斉水質調査」を毎年6月に実施して、主にCOD値（水中の有機物の汚れの度合いを示す「化学的酸素要求量」）を公表している。

また、流域の自治体、企業、市民が連携したゴミ清掃活動「美しい多摩川クリーンキャンペーン」を11月に実施している。このクリーンキャンペーンは昨年、ついに下流域（多摩川河口付近）でも実施し、上流（青梅市）から下流（川崎市）まで拡大している。

教育文化軸では、フォーラムの運動を次世代に継承するため、子どもを対象にした「炭焼き体験と水辺の交流会」を8月に開催している。竹炭づくりから、ヤマメ・ニジマスのつかみどり、ライフジャケット浮力体験等、環境を学びながら親子で楽しめる人気のイベントになっている。また、子どもたちだけで司会進行から発表までおこなうユニークな「多摩川子ども環境シンポジウム」を12月に開催している。

一方、文化面では、多摩に残る言い伝えや昔話を掘り起し、「多摩の物語」として冊子にまとめ「語り」活動をスタートさせるなど、バランスがとれた

地域づくりを展開している。

美しい多摩づくり運動は100年を見据えた大きな運動だ。確かに、これまでの10年間に試行錯誤を繰り返しながらも事業活動は定着し、安定稼働しているように見えるが、敢えて「これからの10年」を新しい目線で展望してみたい。交流人口増加策として、何と云っても「多摩川カヌー駅伝大会」に期待が高まる。昨年春に多摩川フォーラムの企画協力で東京都が多摩川流域6市と連携して実施した反響の大きさ



多摩川カヌー駅伝大会

から、今年は11月25日に青梅市、羽村市、福生市、昭島市、八王子市、あきる野市の6市共催が決まっており、フォーラムが協力することになっている。沿川

て来年度以降も継続実施していく計画だ。今後、上流から中流、さらに河口まで距離を延長すれば、多摩川流域全体を巻き込んだ一大広域連携事業となり、東京のビッグイベントとして認知されることも決して夢ではない。2020年東京五輪に向けて多摩川が目され、カヌー駅伝大会で流域全体が盛り上がり、国内の誘客だけでなく、インバウンドも期待される。ドローンによる多摩川の空撮映像も積極的に活用したい。フォーラム公式ホームページに公開し、多摩川フォーラムの事業活動時に放映していくなど、多くの人々に多摩川の魅力を発信していきたい。また、「多摩の物語」の語り活動は、今後、流域各地で開催し、人々の心をゆるく結んでいきたい。

みなさんも一緒に参加してみませんか。最後に、美しい多摩川フォーラムのテーマソングである「多摩川の歌」の歌詞（作詞：谷川俊太郎）を紹介したい。

多摩川の歌

作詞 谷川俊太郎
作曲 寺崎陸也

大空の高みふるさとにして
霧はまき露は地にしみ
大地の深みをみなもとにして
せせらぎは生まれ広がる
進り流れて止まぬ
多摩川はきらめくいのち

水辺の椽に夢を託して
集う人遊ぶ子どもら
人々の心ゆるくむすんで
水青く森は緑に
渦巻いて湛えて深く
多摩川ははくくむいのち

美しい多摩川フォーラム

設立10周年記念
シンポジウム

&ドローンによる多摩川の空撮映像公開!

美しい多摩川フォーラム
公式ホームページ
<http://www.tama-river.jp/>

多摩川に学ぶ

せたがや水辺の楽校原っぱ遊び場づくり



NPO法人せたがや水辺
デザインネットワーク

理事長 上原 幸子

●地域でつくる子どもが自然とふれあう

自然体験遊び場

多摩川河川敷二子緑地は、グラウンドや公園として多くの世田谷区民に親しまれる場である。かつて読売飛行場だった広大な緑地の中には旧堤防があり、古い土が流出せずに残ったため、カントウタンポポやカワラサイコなど在来植物も生息する。川側には野鳥が営巣するオギの海と呼ばれるオギの群落が川と緑地を分断し、隣接する水道用地は数千羽のツバメが寝ぐらとして利用している。

この緑地の一角に、草ぼうぼうの原っぱがある。地元町会が野焼きを行っていたことから占有されずに残り、1989年から小正月の地域行事「どんど焼き」を行っている。行事直前の草刈りで春の芽吹きが助けられ、在来植物も守られてきた。人の手が少しだけ加わることで、生きものが生息しやすい環境を生む。人がアプローチしやすい半自然が人の都合で偶然作り出され、自然との共生が実現していたのだ。

しかし一方で人のインドア傾向は強くなるばかりで、人がいない場所は危ないと公園でも子どもの姿を見かけなくなる悪循環を生んでいた。そこで、子どもたちの外遊びの減少を心配する親たちが、1999年4月に発足させたのが『砧・多摩川あそび村（通称：きぬたまあそび村）』である。



広々したせたがや水辺の楽校原っぱには、
幼児から小中学生までの子どもたちが遊びに来る

行けば誰かがいる子どもの遊び拠点をと地域に呼びかけ、大きなシンボルツリーのあるこの原っぱで、地域の子どものために自然体験遊び場を始め、翌年からは町会の方の工作協力など、月1回のきぬたまあそび村開催が実現した。

ちょうどこの活動が始まったと同じ年、国の「多摩川水系河川整備計画」で区が意見を束ねる「世田谷ふれあい巡視」に参加する機会に恵まれた。この時「水辺の楽校」を立ち上げるようアドバイスがあり、学校や地域に協力を呼びかけ準備会を設立。「せたがや水辺の楽校」を2006年に開校し、地域で手作りする「せたがや水辺の楽校原っぱ」遊び場づくりが始まった。2010年に土手スロープ整備、2012年に区が占用し助成金での原っぱ整備が完了した。原っぱを利用する地域8団体に呼びかけ、夏場の草刈りは地域で行い、在来種生息エリアは2月の草刈りに変えた。水辺の楽校の月1回の定例活動「あそびの日」では観察会を行い、きぬたまあそび村は世田谷区の委託事業として週3回10時半から17時まで遊び場を開園している。日常の遊びの中で自然とじっくり向き合う時間など、学びと遊びのいい関係が生まれた。



地域の小学6年生有志による
「せたがや水辺の楽校原っぱ」の看板

多摩川は人の活動とともにある川。さまざまな経緯の元に多様な人が関わり、大切に守り育てて来た地域の記憶がある。経緯を知らない人も増え、歴史は目には見えないからこそ、この原っぱが子どもたちのために地域の思いや応援で実現した地域資源であることを伝えていかなければならない。夕焼けの富士山を背に、寝ぐらに戻って来るツバメとともに家路につく時、今日もたくさん遊んだねと大人も子どもも小さな達成感に包まれる。そんな時間をもたらしてくれる原っぱは、地域みんなの宝物なのである。

多摩川散歩

多摩川源流大学から



多摩川源流大学事務局
NPO法人多摩源流こすげ事務局
東京農業大学非常勤講師

石坂 真悟

人口増加の奇跡の村！こすげ！

近年小菅村へ移住してくる家族が増え、ここ2、3年で60名が小菅村へ移住してきました。

その最も移住のきっかけとなった要因は、「教育」や「子育て環境」の充実や役場職員や学校での対応が素晴らしかったということを知ったことがあります。

また2011年から受入れをはじめている協力隊も現役で10名、卒業したOB・OGを含めると18名が小菅村に住み活動を行っています。

移住者や住民にとって魅力的な村であり、住んでよい、暮らしてよい村づくりをしていくきっかけとして源流大学では、今年から「畑の学校」を村民向けに開講しました。



畑の学校

これは、移住者が畑仕事に触れる機会を提供しつつ、村や地元出身者との顔合わせの場づくり、子どもたちの農的遊び環境の提供を目指し始めました。

小菅の子どもたちは、畑作業や野菜を収穫する機会があまりないので、この取り組みを始めて「初めて種まいた」「楽しかった」と感想を述べてくれています。

また全国的に「川ガキ」が減少中との話も耳にし、小菅村も例外では無く少なくなっているそうです。3年前より「小さなころから多摩川の源流に触れあう機会を」という目的で、保育所の保護者の皆さんと

協力して「保育園児のための源流体験教室」を始めました。

これらを経験した子どもたちが、長年受け継がれてきた源流の自然や川の素晴らしさをこれからも引き継ぎ、発信していってくれたら幸いです。



保育園児の源流体験

■ NPO 法人多摩源流こすげのイベント情報

当法人では、小菅村の源流を楽しんで頂く「源流おさんぽツアー」や都会では味わえない夜の暗さを感じる「源流 夜コース」、村の木材を使った伝統的な手法での「箸づくり」など様々な村の魅力を活かした体験イベントを実施しております。

詳細について、当法人の体験プログラム専用サイトをご覧ください。

今後実施予定のイベント

- ・ 源流おさんぽツアー
- ・ 源流 夜コース
- ・ 猟師と一緒に山歩き など多数企画中。

■ 9月10日 多摩川源流トレイルラン

毎年500名近いランナーが、小菅の山々を駆け巡るランニングイベントで、今年で9回目を迎えます。小菅村村民の温かいおもてなしと、巨樹やワサビ田の横を走り抜けるコースとなっており都内近郊でも、大変ユニークなコースと話題になっております。街頭応援お待ちしております。

■ 11月4日大地の恵みまつり

道の駅こすげにて、小菅村で獲れた秋の野菜やヤマメなどの味覚の他、ゲスト(予定)を招いたパフォーマンスなどを行い盛大に開催されます。

NPO 法人多摩源流こすげ
<http://npokosuge.jp/>

2017年度 研究助成金贈呈式が開催されました



7月19日(水)渋谷エクセルホテル東急に於いて「2017年度 研究助成金贈呈式」が開催されました。おかげ様で約80名近い方のご参加を頂き盛会裏に終えることが出来ました。

本年度は、去る3月9日開催の、第59回定時選考委員会におきまして、高橋裕委員長をはじめとする選考委員の先生方により、長時間におよぶ厳正な審議の結果、36件の新規申請研究課題の中から、学研究7件、一般研究5件、計12件の研究が助成対象に選定されました。1975年の助成開始以来、43年間で助成対象は1228件、助成金額累計は、14億4800万円となっております。

なお、永年選考委員長を務められました、高橋裕先生は、今回を限りに退任されました。ご高承のとおり先生は、治水問題、水質問題、水資源問題など、水に関わる研究の国際的権威であり、当財団の助成研究の選考はもとより、財団の運営や社会とのかかわり等につきましても、貴重なご意見を頂いてまいりました。後任の選考委員長には、田畑貞壽先生が着任されました。今年度新規12件の研究テーマは、水質調査、流域の生物の生態調査、過去の研究データの集積から次世代教育に至るまで「多摩川」を題材としたあらゆる分野にわたり、当財団の助成金を役立てて頂く事になります。有意義な研究成果の達成に期待します。



高橋前選考委員長の総評を聞く皆様



懇親会で、席を離れコミュニケーション取る研究者達



受賞者代表でご挨拶を頂いた
上智大学理工学部物質生命理工学科 教授 齊藤玉緒様

齊藤玉緒氏のコメント

21世紀の現在、国連の持続可能な開発のための2030アジェンダ17項目の半分以上が環境に関わっており、環境保全の必要性が社会的に強く認識されています。これに先駆け、43年にわたり多摩川とその流域の環境保全・改善を推進するとともに、学研究助成による「知」の蓄積を推し進められた「とうきゅう環境財団」の助成課題としてこの度採択されました。感謝の気持ちと、これまでの財団活動の歴史に恥じないよう決意を持って研究に臨みたいと思います。

■ 2017年度 研究助成金 受領者一覧 ■

1 新規 学術研究

(単位：円)

| | 研究課題 | 代表研究者 | 所属 | 研究期間 | 2017年度 助成金額 |
|----------|---|-------|--------------------------------|------|----------------|
| 1 | 多摩川水域における希土類元素の存在分布とその起源に関する研究 -主としてMRI造影剤用のガドリニウム濃度との関連性について- | 井上 一雅 | 首都大学東京大学院人間健康科学研究科放射線科学域 准教授 | 2年 | 1,991,479 |
| 2 | 都市型河川における魚類の遺伝的多様性 | 吉永 龍起 | 北里大学海洋生命科学部 准教授 | 2年 | 996,897 |
| 3 | 多摩川集水域50地点定期モニタリングによる放射性セシウム蓄積スポット調査 | 小池 裕也 | 明治大学理工学部応用化学科 専任講師 | 2年 | 2,000,000 |
| 4 | 多摩川の河川水、及び河川底の環境DNA解析による微生物叢解析 -微生物を指標とした河川管理ガイドラインの提案の試み- | 齊藤 玉緒 | 上智大学理工学部物質生命理工学科 教授 | 2年 | 1,027,000 |
| 5 | 多摩川の潜在的な希土類元素汚染と水生生物に対する生体影響の解析 | 関本 征史 | 麻布大学生命・環境科学部 准教授 | 2年 | 1,945,000 |
| 6 | 多摩川流域所在アーカイブズの情報集約・公開に関する調査・研究 -地域持続のために- | 宮間 純一 | 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館 准教授 | 2年 | 1,944,579 |
| 7 | 多摩川上流部の里山林における菌類多様性評価 -里山林は樹木共生性きのこの種多様性の受け皿となりうるか- | 田中 恵 | 東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科 准教授 | 2年 | 1,711,000 |
| 合 計 (7件) | | | | | 11,615,955 |

2 新規 一般研究

(単位：円)

| | 研究課題 | 代表研究者 | 所属 | 研究期間 | 2017年度 助成金額 |
|----------|---|-------|---------------------|------|----------------|
| 1 | リネン布を使用した多摩川全域にわたる定点観測地点における流水内の放射性核種の量の調査 | 清宮 祥子 | 特定非営利活動法人R.I.La理事長 | 1年 | 1,000,000 |
| 2 | 多摩川流域(東京都域)における絶滅危惧種ハヤブサの生態に関する調査研究 | 御手洗 望 | 多摩クマタカ生態調査チーム | 1年 | 219,365 |
| 3 | 多摩川の主に漁撈、漁具、漁法に関する古文献、写真等のデジタル化に関する調査 | 山道 省三 | NPO法人多摩川センター 代表理事 | 1年 | 784,000 |
| 4 | ICレコーダーを利用した多摩川上流部及び東京都山間部における絶滅危惧鳥類と希少鳥類の生息調査 | 鈴木 浩克 | | 2年 | 993,878 |
| 5 | 多摩川流域の地下水の文化、価値を継承する次世代教育のためにコミュニケーションを重視した「水を守る」「水を活かす」リーダーとなる人材育成 | 大嶽 貴恵 | 環境まちづくりNPOエコメッセ 理事長 | 2年 | 500,000 |
| 合 計 (5件) | | | | | 3,497,243 |

3 継続 学術研究

(単位：円)

| | 研究課題 | 代表研究者 | 所属 | 研究期間 | 2017年度 助成金額 |
|----------|--|-------|------------------------------------|------|----------------|
| 1 | 多摩川上流域における落葉分解性水生不完全菌類の多様性とその落葉破砕水生昆虫に対する意義の解明 | 佐藤 大樹 | 国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所 森林昆虫研究領域長 | 2年 | 2,000,000 |
| 2 | 多摩川河口域に飛来する野鳥の保護にむけた寄生虫感染状況の調査 | 彦坂 健児 | 千葉大学大学院医学研究院 感染生体防御学領域 特任講師 | 2年 | 1,578,200 |
| 3 | 多摩川中流域に残存する谷戸地形(都立農業高等学校附属神代農場)の生物多様性に関する研究と谷戸地を利用した環境教育 | 小作 明則 | 一般財団法人進化生物学研究所 | 2年 | 670,000 |
| 4 | 多摩川の河口干潟における珪藻の種多様性と群集ダイナミクスの解明 | 真山 茂樹 | 東京学芸大学教育学部 教授 | 2年 | 1,786,950 |
| 合 計 (4件) | | | | | 6,035,150 |

4 継続 一般研究

(単位：円)

| | 研究課題 | 代表研究者 | 所属 | 研究期間 | 2017年度 助成金額 |
|-----------|---|-------|-------------------------------------|------|----------------|
| 1 | 多摩川中流域におけるカヤネズミ生息情報マップの作成と保全の提言 | 井上 太志 | 自然観察活動チーム Wild Lives Watchers 代表 | 2年 | 91,190 |
| 2 | 生き物の生息に配慮して改修した農業水路の市民参加型モニタリング調査 | 西田 一也 | 東京農工大学農学部・農学部 非常勤講師 | 2年 | 123,058 |
| 3 | 「環境省レッドデータブック2014」の絶滅危惧Ⅱ類モリアブラコウモリは多摩川流域にいつ、どこに棲んでいるのか? | 重昆 達也 | 東京コウモリ研究会 代表 | 2年 | 412,000 |
| 合 計 (3件) | | | | | 626,248 |
| 総 合 計 19件 | | | | | 21,774,596 |

財団からのお知らせ

助成研究募集のご案内

多摩川およびその流域の環境浄化に関する 基礎研究、応用研究、環境改善計画のための研究・活動の募集

公益財団法人とうきゅう環境財団（理事長 鈴木 克久）は、1975年より、多摩川およびその流域の環境浄化の促進や自然環境の保全などに必要な調査や試験研究を毎年公募してきています。その結果、これ迄に1,228件（学術研究766件、一般研究462件、14億48百万円）の調査・試験研究のお手伝いをさせていただきました。

2018年4月からの助成についても下記の通り、従来と同様、意欲的な調査や試験研究を募集致します。

応募資格

学識経験者の方はもちろん、一般の方でも下記目的にあった研究で、意欲のある方であれば、どなたでもご応募いただけます。

助成研究対象テーマ

多摩川およびその流域の環境浄化に関する基礎研究、応用研究、環境改善計画のための研究
産業活動または住生活と多摩川およびその流域との関係に関する調査および試験研究
排水・廃棄物等による多摩川の汚染の防除に関する調査および試験研究
多摩川およびその流域における水の利用に関する調査、試験研究
多摩川を取り巻く自然環境の保全、回復に関する調査、試験研究
シンポジウム、音楽会あるいは出版等による環境啓発活動や、歴史的な遺産あるいは社会システムの維持保全・回復運動等、多摩川およびその流域における環境保全や文化の創造に広く寄与するもの

応募方法

当財団所定の申請書に必要事項を記入、捺印の上、財団宛ご提出ください。
（申請書用紙は、公式ウェブサイトからダウンロードできます。）手書きでの申請書はご遠慮ください。

助成の決定

2018年3月に開催予定の当財団選考委員会にて選考のうえ、理事会に諮って最終的に決定します。

応募期間 2017年9月1日（金）～2018年1月19日（金）

応募締切日 2018年1月19日（金）消印有効

応募にあたっての注意事項

ご応募にあたっては、当財団の定める「調査・試験研究助成に関する基準と個人情報保護に関する規程」を必ずお読み下さい。（同規程は、公式ウェブサイトに掲載しています。）
過年度に不採用となった調査や研究の再応募は受付けておりませんので、同一の調査・試験研究課題で再応募される場合は、前回のものとは調査や試験研究の内容の違いがよく判るよう工夫して、申請書をご作成下さい。

助成研究の種別と条件

| 研究の種別 | 学術研究 | 一般研究 |
|---|---|---|
| 研究の区別 | 環境問題改善のための調査や試験研究で、専門性が高く、その分野の学識経験を必要とするもの。 | 環境問題改善のための調査や試験研究で、一般の市民が、特別な学識経験を必要とせず取り組めるもの。 |
| | (財団の公式ウェブサイト過去の研究事例をご参照下さい。) | |
| 1件当たりの助成金総額 の上限額 | 400万円 | 100万円 |
| 単年度の助成金上限額 | 200万円 | 100万円 |
| 研究期間 | 最長2ヶ年 | 最長2ヶ年 |
| 助成対象費目 (1) 器 具 備 品 費 (2) 消 耗 品 費 (3) 旅 費 (4) 謝 金 (5) そ の 他 | <p>直接研究に使用する器具備品で1個、又は一式10万円以上の固定資産調査や試験研究に用いる各種材料、部品、薬品等。</p> <p>調査や試験研究のための交通費、宿泊費等。</p> <p>調査や試験研究のために臨時に雇った人の謝金等。</p> <p>器機・設備などの賃借料、通信費、その他。</p> | |
| <p>一般研究については、従来からの調査・試験研究に加えて、シンポジウム、音楽会あるいは出版等による環境啓発活動や、歴史的な遺産あるいは社会システムの維持保全・回復運動等、多摩川およびその流域における環境保全や文化の創造に広く寄与すると思われるものも選考の対象といたしますので、奮ってご応募下さい。</p> | | |

以上

最新情報は、当財団の公式ウェブサイトでご確認下さい。 <http://www.tokyuenv.or.jp/>

インフォメ／多摩川

多摩川流域の各種団体等の9月から行われる環境活動に関する主な行事・イベント情報を紹介いたします。

☆ 美しい多摩川フォーラム

1. 「多摩の物語」の語り会（9月9日 土：カタリストBA 世田谷区・二子玉川ライズ）
2. 多摩川“水”大学講座（9月15日 金：小金井市・小金井市前原暫定集会施設1階A会議室）
3. 美しい多摩川フォーラムの森（青梅）・桜の記念植樹イベント（9月23日 土：青梅市柚木町）
4. 第10回たまりパー50キロ命名記念・RUN&WALK（10月14日 土：大田区～羽村市）
5. 多摩川“水”大学講座（10月20日 金：小金井市・小金井市前原暫定集会施設1階A会議室）
6. 美しい多摩川クリーンキャンペーン
（11月11日 土：川崎市 殿町第2公園、11月18日 土：多摩市 一ノ宮公園、青梅市 御岳）
7. 多摩川“水”大学講座（11月17日 金：小金井市・小金井市前原暫定集会施設1階A会議室）
8. 多摩川カヌー駅伝大会（11月25日 土：青梅市～昭島市）
9. 第9回多摩川子ども環境シンポジウム（12月9日 土：昭島市フォレスト・イン昭和館）

■ 問合せ先

美しい多摩川フォーラム事務局（青梅信用金庫 地域貢献部内）

担当：及川／黒米／木村

TEL：0428-24-5632 FAX：0428-24-4650

E-mail：forum@tama-river.jp URL：http://tama-river.jp

☆ みずとみどり研究会

第48回多摩川流域セミナー

「調べて 知ろう!多摩川の外来植物(仮)」開催のお知らせ

日時 2017年10月9日(月・祝)

場所 東京都市大学 夢キャンパス (二子玉川)

アクセス 東急田園都市線・大井町線「二子玉川駅」下車 徒歩1分

二子玉川近隣の多摩川河川敷での外来植物調査

内容 今回で48回目となる本セミナーでは、世田谷区の市民団体と一般社団法人生物多様性アカデミー、東京都市大学等で過去3回二子玉川近隣の多摩川・野川の河川敷で実施しているスマートフォンを利用した外来植物調査の紹介や今回の参加者には実際に河川敷に行き行って簡単な操作練習を行います。また、多摩川を管理している国土交通省京浜河川事務所からは河川環境についての取り組み紹介もあります。

詳細 京浜河川事務所ホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/>

または 多摩川流域懇談会 Facebook <https://www.facebook.com/tamaryukon>

フェイスブックは「多摩川流域懇談会」で検索

主催 多摩川流域懇談会(市民(団体)・多摩川流域3自治体・河川管理者など)

■ お申込・お問合せ先

多摩川流域懇談会事務局 みずとみどり研究会

連絡先 TEL/FAX 042-327-3169 E-mail：mizutomidoriken@ybb.ne.jp

☆ むさしの化石塾

話題「多摩川中流域で発見されたアケボノゾウ化石 収蔵化石の定期公開」

むさしの化石塾の野外イベントなどで多摩川中流域で発見されてきた動・植物化石について

特定の日一般公開を行っています。コウノトリ足跡化石の切り出し標本など。

特に自然史博物館でも収蔵していない研究途中のアケボノゾウなど、博物館寄贈前の貴重な収蔵化石を公開いたします。興味関心のある方は、事前要予約で、内覧希望の方はメールアドレスにお問い合わせください。下半期は2回公開します。

公開日 第1回 9月17日(日) 13時-16時

第2回 12月17日(日) 13時-16時

公開場所 むさしの化石塾 事務所

〒208-0003 東京都武蔵村山市中央3-20-7 MKJ事務所

最寄り交通 武蔵村山市役所前バス停 徒歩3分

入館料 1000円

見学希望者と調整し別途日程での訪問も要相談をうけたまわっております。

■下半期の野外イベント■

下記の予定で「フィールドサイエンス化石採集会」を行う予定です。
詳細は、申込希望者に別途、ご案内いたします。

2017年10月15日(日) 10時-14時 多摩川中流域 小山田層河床

11月19日(日) 10時-14時 多摩川中流域 小山田層河床

興味のある方は、メールにて氏名・住所・連絡先・氏名・学年・参加希望の理由を明記の上、
geo@extra.ocn.ne.jp までお申し込みください。

■問合せ先

Geo Wonder 企画 むさしの化石塾
〒208-0003 東京都武蔵村山市中央3-20-7 MKJ 事務所
むさしの化石塾 代表 福嶋 徹
Mail: geo@extra.ocn.ne.jp

☆ 一般財団法人 世田谷トラストまちづくり

野川せせらぎ教室<虫をさがそう!>~野川

9月10日(日) 午前9時30分~午前11時30分 要申込

秋のバードウォッチング<親子観察会>~野川周辺

11月25日(土) 午前9時30分~11時30分 要申込

晩秋のみつ池体験教室~成城みつ池緑地

12月16日(土) 午前10時~午後2時 要申込

世田谷トラストまちづくりビジターセンター ~世田谷区成城4-29-1(野川沿い)

*「身近な自然と触れ合うミニイベント」原則毎月第3土曜日 午後1時30分~3時
要申込 / TEL: 03-3789-6111

*「みどりの上映会」

毎週土曜日の午前10時~正午、午後1時30分~3時30分 随時・申込不要

■申込・問い合わせ先

(一財)世田谷トラストまちづくり

TEL: 03-6407-3312 FAX: 03-6407-3319

財団HP <http://www.setagayatm.or.jp/>

☆ 川崎市域水辺の楽校

川崎市域水辺の楽校開催予定

| かわさき水辺の楽校 | とどろき水辺の楽校 | だいし水辺の楽校 |
|----------------------------|---|---------------------------------|
| 9月10日(日) 二ヶ領用水で魚とり | 9月24日(日) 川の安全教室 | 9月16日(土) ハゼ釣り教室 |
| 9月16日(土) だいしでハゼ釣り | 10月1日(日) 昆虫観察 | 10月7日(土) 干潟とハゼ釣り教室 |
| 10月22日(日) 二ヶ領用水取水口で魚釣り | 10月29日(日) 丸子の渡し祭り | 10月21日(土) 干潟とハゼ釣り教室 |
| 11月11日(土) 緑化センター祭りに参加 | 11月3日(金・祝) 二子の渡し体験 | 11月4日(土) 干潟観察会と野草観察 |
| 12月16日(土) 多摩区の外遊びに参加・協力 | 11月23日(木・祝) 渡し場サミット 12月23日(土・祝) 野鳥観察 | 12月16日(土) ツル編み教室・クズつるのエコクラフト |

■問合せ先

NPO 法人 とどろき水辺
理事・事務局 鈴木真智子
212-0004
川崎市幸区小向西町三丁目64
電話 044-201-1493 携帯 090-5814-9604
Eメール: info@todoroki.org <http://www.todoroki.org>

☆ 多摩川大学ふれあい移動水族館

| | | | | |
|-----------|-----------------------|----------------------|------------|---------|
| 9月 2日 土 | 多摩川環境学習会 | 多摩区内の多摩川 | 11時～12時30分 | 参加申し込み制 |
| 9月 3日 日 | おさかなポスト学習会 | 多摩区稲田公園内魚の家おさかなポスト | 11時～12時30分 | 申し込み制 |
| | ふれあい水族館 | 多摩区稲田公園内魚の家おさかなポスト | 10時～16時 | 参加自由 |
| 9月 7日 木 | 多摩川環境学習会 | 川崎市立西御幸小学校 | 9時～12時 | 参加申し込み制 |
| 9月 9日 土 | ふれあい移動水族館 | 川崎市平和館 | 13時～16時 | 参加自由 |
| 9月 10日 日 | おさかなポスト学習会 | 多摩区稲田公園内魚の家おさかなポスト | 11時～12時30分 | 申し込み制 |
| | ふれあい水族館 | 多摩区稲田公園内魚の家おさかなポスト | 10時～16時 | 参加自由 |
| 9月 16日 土 | 環境学習会立川市道徳授業地区公開講座 | | 9時20分～12時 | 申し込み制 |
| 9月 17日 日 | ふれあい移動水族館 たまたま子育て祭り | 川崎市多摩区役所 | 9時30分～16時 | 参加自由 |
| 9月 18日 月 | ふれあい移動水族館 足立区自然体験デー | 荒川河川敷 | 10時～16時 | 参加自由 |
| 9月 23日 土 | ふれあい移動水族館 | 埼玉県レイクタウン | 9時30分～16時 | 申し込み制 |
| 9月 24日 日 | 多摩川親子釣り大会 | 多摩区稲田堤おさかなポスト前の多摩川 | 9時～12時 | 参加自由 |
| 9月 30日 土 | 多摩川環境学習会 | 多摩区内の多摩川 | 11時～12時30分 | 参加申し込み制 |
| 10月 1日 日 | おさかなポスト学習会 | 多摩区稲田公園内魚の家おさかなポスト | 11時～12時30分 | 申し込み制 |
| | ふれあい水族館 | 多摩区稲田公園内魚の家おさかなポスト | 10時～16時 | 参加自由 |
| 10月 7日 土 | ふれあい移動水族館 川崎市みなと祭り | 川崎マリエン | 10時～14時 | 参加自由 |
| 10月 8日 日 | ふれあい移動水族館 川崎市みなと祭り | 川崎マリエン | 10時～14時 | 参加自由 |
| 10月 14日 土 | 多摩川環境学習会 | 多摩区内の多摩川 | 11時～12時30分 | 参加申し込み制 |
| 10月 15日 日 | おさかなポスト学習会 | 多摩区稲田公園内魚の家おさかなポスト | 11時～12時30分 | 申し込み制 |
| | ふれあい水族館 | 多摩区稲田公園内魚の家おさかなポスト | 10時～16時 | 参加自由 |
| 10月 21日 土 | ふれあい移動水族館 | エネオス川崎工場 子どもフェスティバル | 9時～16時 | 参加申し込み制 |
| 10月 22日 日 | おさかなポスト学習会 | 多摩区稲田公園内魚の家おさかなポスト | 11時～12時30分 | 申し込み制 |
| | ふれあい水族館 | 多摩区稲田公園内魚の家おさかなポスト | 10時～16時 | 参加自由 |
| 10月 28日 土 | 調布花火大会 老人ホームチャリティー水族館 | | | |
| 10月 29日 日 | おさかなポスト学習会 | 多摩区稲田公園内魚の家おさかなポスト | 11時～12時30分 | 申し込み制 |
| | ふれあい水族館 | 多摩区稲田公園内魚の家おさかなポスト | 10時～16時 | 参加自由 |
| 10月日にち未定 | 渡し船体験 | 多摩区菅稲田堤 おさかなポスト前の多摩川 | 10時～15時 | 参加自由 |
| 11月 3日 金 | ふれあい移動水族館 川崎市民祭 | 川崎市富士見公園 | 10時～14時 | 参加自由 |
| 11月 4日 土 | ふれあい移動水族館 川崎市民祭 | 川崎市富士見公園 | 10時～14時 | 参加自由 |
| 11月 5日 日 | ふれあい移動水族館 川崎市民祭 | 川崎市富士見公園 | 10時～14時 | 参加自由 |
| 11月 11日 土 | 多摩川環境学習会 | 多摩区内の多摩川 | 11時～12時30分 | 参加申し込み制 |
| 11月 12日 日 | おさかなポスト学習会 | 多摩区稲田公園内魚の家おさかなポスト | 11時～12時30分 | 申し込み制 |
| | ふれあい水族館 | 多摩区稲田公園内魚の家おさかなポスト | 10時～16時 | 参加自由 |
| 11月 18日 土 | 多摩川環境学習会 アユの産卵場観察会 | 多摩区内の多摩川 | 11時～12時30分 | 参加申し込み制 |
| 11月 19日 日 | おさかなポスト学習会 | 多摩区稲田公園内魚の家おさかなポスト | 11時～12時30分 | 申し込み制 |
| | ふれあい水族館 | 多摩区稲田公園内魚の家おさかなポスト | 10時～16時 | 参加自由 |
| 11月 25日 土 | 多摩川環境学習会 | 多摩区内の多摩川 | 11時～12時30分 | 参加申し込み制 |
| 11月 26日 日 | おさかなポスト学習会 | 多摩区稲田公園内魚の家おさかなポスト | 11時～12時30分 | 申し込み制 |
| | ふれあい水族館 | 多摩区稲田公園内魚の家おさかなポスト | 10時～16時 | 参加自由 |
| 12月 2日 土 | 多摩川環境学習会 | 多摩区内の多摩川 | 11時～12時30分 | 参加申し込み制 |
| 12月 3日 日 | おさかなポスト学習会 | 多摩区稲田公園内魚の家おさかなポスト | 11時～12時30分 | 申し込み制 |
| | ふれあい水族館 | 多摩区稲田公園内魚の家おさかなポスト | 10時～16時 | 参加自由 |
| 12月 9日 土 | 多摩川環境学習会 | 多摩区内の多摩川 | 11時～12時30分 | 参加申し込み制 |
| 12月 10日 日 | おさかなポスト学習会 | 多摩区稲田公園内魚の家おさかなポスト | 11時～12時30分 | 申し込み制 |
| | ふれあい水族館 | 多摩区稲田公園内魚の家おさかなポスト | 10時～16時 | 参加自由 |

| | | | | |
|-----------|---------------------|--------------------|------------|---------|
| 12月 16日 土 | 多摩川環境学習会 | 多摩区内の多摩川 | 11時～12時30分 | 参加申し込み制 |
| 12月 17日 日 | おさかなポスト学習会 | 多摩区稲田公園内魚の家おさかなポスト | 11時～12時30分 | 申し込み制 |
| | ふれあい水族館 | 多摩区稲田公園内魚の家おさかなポスト | 10時～16時 | 参加自由 |
| 12月 23日 土 | 多摩川環境学習会 | 多摩区内の多摩川 | 11時～12時30分 | 参加申し込み制 |
| 12月 24日 日 | おさかなポスト学習会 | 多摩区稲田公園内魚の家おさかなポスト | 11時～12時30分 | 申し込み制 |
| | ふれあい水族館 | 多摩区稲田公園内魚の家おさかなポスト | 10時～16時 | 参加自由 |
| 12月 29日 金 | おもちつきお楽しみ会 | 多摩区生田 おさかなポスト事務所 | 9時～16時 | 参加申し込み制 |
| 12月 31日 日 | 多摩川環境学習会 多摩川カウントダウン | 多摩川河口 | 23時～0時30分 | 参加申し込み制 |

上記の詳細、お問い合わせ、参加申し込みは下記へご連絡ください。
ふれあい移動水族館・出前授業・講演会などのご依頼は下記へお問い合わせ下さい。

■問合せ先

mlc54407@nifty.com 電話 090-3209-1390
NPO法人おさかなポストの会 ふれあい移動水族館
川崎市多摩区生田7-25-1 電話 044-933-3220 携帯 090-3209-1390

☆ NPO法人せたがや水辺デザインネットワーク

「多摩川生きもの水族館」

日時：7月24日から9月30日

場所：二子玉川ライズ ルーフガーデン4階 めだかの池レクチャースペース

■問合せ先

NPO 法人せたがや水辺デザインネットワーク <http://setagaya-mizubedesign.org/>

編集後記

おかげ様で今年度の研究助成金贈呈式が無事に終わりました。受賞者の皆様おめでとうございます！研究者の皆様とやりとりをしていると熱い思いが伝わってきて応援したくなります！研究・調査・活動等頑張ってください！また今号から、せたがや水辺デザインネットワークの連載が始まります。多摩川をフィールドとした自然河川での体験学習・環境学習他をご紹介できればと思っております。皆様もお楽しみに！ (M)

4月から財団事務局に来ました。多摩川をテーマに多くの方が、実にさまざまな活動に取り組んでいることを知り、驚きとともに嬉しさを感じています。私は最近、自転車が多摩川の流れをたどり下ってみるという「個人的活動」を始めました。2回に分けて丹波山村から青梅まで来たところで、猛暑のために今はちょっと中断。本誌が皆様のお手元に届くころには第3回にチャレンジできている・・・かも・・・(Z)

発 行 日

2017年9月1日

編集兼発行

公益財団法人 とうきゅう環境財団

〒150-0002

渋谷区渋谷1-16-14

(渋谷地下鉄ビル5F)

TEL 03-3400-9142

FAX 03-3400-9141

公式ウェブサイト

<http://www.tokyuenv.or.jp/>